



糸魚川市立能生中学校

所在地 糸魚川市大字能生 2643

校長 吉田 和則

教頭 熊木 勝

☎ 025(566)2065

Fax 025(566)2465

Email nou-jhs@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	特支	合計
学級	2	2	2	2	8
男子	25	33	18	4	76
女子	18	26	31	3	75
合計	43	59	49	7	151

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S20 新学制の実施により現在の能生小学校建設地に能生町立能生中学校創立
- S35 4月1日能生中・木浦中・能生谷中の一部を統合し、新たに能生中学校を新設
- H4 4月1日南中学校統合、4月6日開校式
- H5 4月現在の能生中学校竣工、同年6月に屋外運動場完成
- H22 4月磯部中学校を統合
- H23 創立20周年
- R2 大規模改修工事
- R3 創立30周年

(2) 教育課題

- 家庭学習習慣が身につけていない
- 人間関係をうまく築けない生徒がいる
- メディアに依存する生徒がいる

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

夢 真 力

(2) 重点目標

- 自ら学習に取り組み協力して学ぶ生徒の育成
- 思いやりと感謝の気持ちを行動にうつすことのできる生徒の育成
- 自ら考えて心と体を鍛える生徒の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 学習習慣の定着・充実、授業改善
- 思いやりと感謝の心、互いの絆を深める活動
- 正しい生活習慣、望ましい集団づくり、部活動の充実
- 子ども一貫教育方針の自校化

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

学習に主体的に取り組み、話し合いや協働的な学習を通して課題を解決し、知識・技能や思考力、判断力、表現力を身に付け、自己の目標の実現に努める生徒を育成する。

(2) 特別の教科 道徳

道徳的価値を自分事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする生徒を育成する。

(3) 総合的な学習の時間（抜粋）

- 自分の将来に夢や希望をもち、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考える生徒を育成する。
- 校区内のジオエリアを訪問し、歴史や人々との関わりを学び、ふるさとの自然や文化を大切にし、地域に貢献しようとする生徒を育成する。

(4) 特別活動

- 互いのよさを認め、尊重し合い、正しい行動をする生徒を育成する。
- 話し合い活動を活発に行い、集団づくりに積極的に取り組む生徒を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点（抜粋）

- 気持ちのよい挨拶、正しい言葉遣いを心掛ける態度を育てる。
- 生徒会を中心とした、いじめ見逃しゼロのための活動を通して、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 積極的な話し合いの場を設定するとともに学級の時間の充実を図る。（学級優先日の班会議や班長会）
- 道徳の授業や「いじめ見逃しゼロスクール運

動」を中心にいじめ見逃しゼロの取組を実践し、いじめや嫌がらせをなくす。

- 挨拶やよい言葉遣いを心掛ける日常的な取組（挨拶運動・よい言葉遣い運動）を行う。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら考え、伝え合い、向上する生徒の育成」

(2) 研究の内容

- 自ら考え、伝え合い、向上する生徒の育成（学習プロジェクト）
- 思いやりと感謝の心を行動にうつすことができる生徒の育成（心づくりプロジェクト）
- 自ら考え、心と体を鍛える生徒の育成（健康・体力づくりプロジェクト）

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

ジオエリア学習を実施する。地域素材や地域講師を活用した学年毎の探究活動を通して、生徒が人と自然との関わりを学んだり郷土を愛する心を高めたりすることができるようにする。

(2) キャリア教育

地域学校協働活動推進員と連携を図り、職業講話、職場訪問、職場体験などの活動を通して勤労観を高め、将来の夢の実現に向けて目標をもつことができるようにする。

また、市キャリア教育フォーラムとの関連を図ったりキャリアパスポートを活用したりする。

(3) 特別支援教育

個別の指導計画に基づいて教育活動を実践するとともに、交流学习を通して社会への適応力や社会参加に必要な力を育む。

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技部 ○野球部 ○男子バレーボール部
- 女子バレーボール部 ○卓球部 ○吹奏楽部
- 文化活動部 ○（特設）相撲・水泳・スキー部

(2) 活動時間

夏季（4月～新人大会） 18時00分まで

冬季（新人大会～3月） 17時00分まで

*学期中は、週当たり2日以上休養日を設ける。

平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

*夏季休業中及び冬季休業中は別に設定する。

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 11 ○講師 2
- 非常勤講師 3 ○養護教諭 1 ○事務主幹 1
- 主事 1 ○ALT 1 ○教育補助員 2
- 学校管理員 1

9 学校運営協議会

【委員の構成】10名

- 公民館長 ○区長連絡協議会長
- 学識経験者 ○保護司会区長 ○元PTA会長
- PTA会長 ○校長、教頭

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- (1) 能生中学校教育の在り方
- (2) 教育活動に関わること
- (3) 地域・保護者との連携に関すること

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:20~8:30	朝活動				
8:30~8:40	朝学活				
8:45~9:35	1 限				
9:45~10:35	2 限				
10:45~11:35	3 限				
11:45~12:35	4 限				
12:35~13:05	給食				
13:05~13:35	昼休み				
13:40~13:50			清掃		
14:00~14:50	13:40~	5 限			
14:35~14:45	終学活				
15:00~15:50		6 限	6 限	6 限	6 限
15:55~16:05		終学活	終学活	終学活	終学活

*生徒下校 部活動がない日 5限 15時00分
6限 16時20分
部活動がある日 夏季 18時15分
冬季 17時35分

*通学方法 スクールバス：2名 路線バス：48名
徒歩：101名



糸魚川市立糸魚川東中学校

所在地 糸魚川市梶屋敷 433

校長 青山 範夫

教頭 宮田 雅仁

☎ 025(555)2616

fax025(555)4517

Email yakeyama@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	特支	合計
学級	1	2	2	2	7
男子	22	25	23	6	70
女子	19	18	23	1	60
合計	41	43	46	7	130

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S 36 糸魚川第二中学校開校

H 7 糸魚川第二中学校、下早川中学校、上早川中学校の3校が統合し開校

(2) 教育課題

- 生涯学ぶ基盤となる学力の育成
- 失敗や困難に負けない生きる力の育成
- 自他の尊重と相互の信頼関係の醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「敬愛・進取・健康」

(2) 重点目標

- 認め合い、励まし合う生徒の育成
- 自ら考え、判断し実践する生徒の育成
- 安全で健康な生活を送る生徒の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 教職員の役割分担を明確にして、全校体制で協働するための情報共有
- 生徒が思考・判断しながら活動する場の確保と時間の充実
- 集団に望ましい変化を生み出す自治的活動の推進
- ふるさと糸魚川ジオパークへの愛着を育む学習活動や保護者・地域と連携したキャリア教育(職場体験、子ども参観日、地域貢献)、学校行事、ボランティア活動、学習参観の推進

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用してよりよく課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む意欲や態度を養う。

(2) 道徳の時間

豊かな心をもち、互いを思いやり励まし合いながら、人間としてのよりよい生き方を追求し合う生徒を育てる。

(3) 総合的な学習の時間

地域との関わりの中から自らの生き方を考え、その実現に向けて努力する生徒を育てる。

(4) 特別活動

望ましい集団を組織し、生徒の自主的活動を促進し、集団や社会の一員としての自覚を高め、望ましい人間関係を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

生徒と教師、生徒相互の温かな関係性の中で個の意識を高め、望ましい集団の風土をつくる。

生徒会が取り組む「よりよい学校づくりを目指す活動」を支援し、生徒自身の手による望ましい世論の形成と雰囲気醸成を図る。

(2) 具体的な実践の方策

- 不登校症状の早期発見及び適切な初期対応
- いじめ等の未然防止と早期発見、適切な初期対応、継続的な支援
- 生徒一人ひとりの活動の場の設定
- 肯定的な評価と自己有用感の醸成

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら考え、伝え合いながら学びを深める生徒の育成」

(2) 研究の内容

- 生徒が自ら考え、伝え合いながら学びを深める授業の工夫
- 家庭学習の充実に向けた取組の充実
- 学習環境（人間関係、生活習慣）の向上
- 各種テストの分析と方策の構想
- グループ別授業研修及び協議会の実施
- 研究主題を踏まえた全教育活動での実践

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

市内のジオサイトを学習するジオパーク現地学習を学年ごとに計画し、その活動を通して地元糸魚川の理解を深め、生きる力、豊かな感性と心情を育てる。

- ① 1 学年…月不見の池・焼山ジオサイト方面
- ② 2 学年…筒石・浜徳合・弁天岩ジオサイト方面
- ③ 3 学年…親不知・青海海岸ジオサイト方面

(2) キャリア教育

ふるさと糸魚川をテーマとした学習を通して、自ら課題を見付け、解決に取り組み、社会的・職業的自立に必要な力を育む。

- ① 1 学年…子ども参観日、中1チャンスの実施
- ② 2 学年…5 日間の職場体験活動
- ③ 3 学年…地域への貢献や提言

(3) 特別支援教育

一人ひとりの教育的ニーズに応え、困難を改善克服するために適切な支援を行う。

- ① 全職員の共通理解を基盤とした支援の充実
- ② 保護者や関係機関との連携による支援
- ③ 職員研修やケース会議の充実

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上・スキー部 ○野球部 ○男子バスケットボール部 ○女子バスケットボール部
- 卓球部 ○吹奏楽部 (○ 特設駅伝部)

(2) 活動時間

夏季 16:00～18:00 (18:15 下校)

冬季 16:00～17:15 (17:30 下校)

*毎週月曜、木曜、土日(どちらか)は活動なし(ただし、大会前等、事情により異なる。)

*夏季休業日、冬季休業日は別に設定

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 1 1
- 養護教諭 1 ○主事 1 ○講師 3
- 非常勤講師 1 ○栄養教諭 (兼) 1
- 管理員 1 ○調理員 4 ○教育補助員 2
- こども教育相談員 1 ○ALT 1
- スクールカウンセラー 1
- 地域学校協働活動推進委員 2

9 学校運営協議会

【委員の構成】10名

- 元PTA会長、現PTA副会長、民生児童委員協議会会長、糸魚川市主任教育相談員、地域学校協働活動推進委員 おやじ倶楽部代表 学校職員 (校長、教頭、教務、主事)

【課題】

- 地域が抱える諸課題の解決に、生徒が主体的に関わる仕組み作り。(大人の関わり方)
- 中学校区の既存の組織との情報共有の在り方。

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～ 8:30	朝学習・朝読書・朝の会				
8:40～ 9:30					
9:40～ 10:30					
10:40～ 11:30					
11:40～ 12:30					
12:30～ 13:00	給食				
13:00～ 13:30	昼休み				
13:50～ 14:40					
14:50～ 15:40					
15:50～ 16:00	帰りの会				
～ 18:00	放課後活動				

*生徒下校 18時15分 (17時30分)



糸魚川市立糸魚川中学校

所在地 糸魚川市上刈 4-1-1

校長 猪又 力

教頭 寺田 寛

☎ 025(552)1267

Fax025(552)0360

Email itoigawa@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成（特支人数は再掲）

学年	1年	2年	3年	特支	合計
学級	5	4	5	6	20
男子	91	77	84	24	252
女子	74	62	78	6	214
合計	165	139	162	30	466

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 平成 10 年 西海・糸魚川・姫川 3 中学校が統合し、糸魚川中学校として開校
- 平成 11 年 グラウンド改修（ナイター設備完備）
- 平成 19 年 統合 10 周年記念事業
- 平成 22 年 新体育館完成
- 平成 23 年 地域貢献活動開始
- 平成 29 年 統合 20 周年記念事業
- 令和 2 年 ヒスイ原石設置

(2) 教育課題

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、学び続けていく生徒の育成
- 自然を愛し、情操豊かな生徒の育成
- 心身ともに健康で、最後まで頑張り抜く生徒の育成
- 生徒相互、生徒と教師の心のふれあいの深化
- 自尊感情を醸成し、前向きに考えて生活できる生徒の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

理想をもち、ともに自己実現を目指す生徒
【目指す生徒】「自律」=自ら考え、判断し、
決定して行動する生徒

(2) 重点目標

- 目標をもち、ねばり強く学び続ける生徒
- 協力して諸活動に意欲的に取り組む生徒
- 自他について深く考え、自分のよさや可能性を最大限発揮しようとする生徒

(3) 重点目標を達成するための方策

- 生徒全員が安心して、喜んで通う学校にするため、人間関係や登下校など安全確保をはじめ、心身ともに安心・安全な環境を整える。
- 学力向上対策を確実に実施し、学校体制での授業改善に取り組む。
- 望ましい生活習慣を確立するために、緊密に家庭と連携する。
- 小小・小中の連携を促進する。
- 地域との連携を改善・充実し、地域のよりどころとなる、信頼される学校づくりを進める。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- 「基礎・基本の定着」、主体的、対話的で深い学びのある授業を計画、実践する。
- 授業と家庭学習の望ましいサイクルを確立し、自ら学習に取り組む態度を育てる。

(2) 「特別の教科 道徳」の時間

- 様々な道徳的価値にふれ、自己の価値の自覚を深める。
- 人間としての在り方や生き方を考え、よりよく生きようとする意欲と態度を育てる。

(3) 総合的な学習の時間

- 生涯の人生設計を考え、ふるさと糸魚川を愛し、豊かな人間関係を築く。

(4) 特別活動

- よりよい学校生活を築くために、ともに考え、意見を交わし、協力して取り組む態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- 認め合い、協力し合い、高め合う自治集団づくりに努める生徒
- 自らのあり方を知り、あるべき行動を進んで決定できる生徒

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 自治的な活動による集団的な高まりを通して、成就感や充実感がもてるように支援する。
- 全教職員が共通理解の上に立ち、一貫した指導体制で協力して指導にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

自ら学ぶ意欲をもち、共に支え、共に高め合う生徒の育成

(2) 研究の内容

- ①授業改善と家庭学習の充実の取組
- 授業のねらい・課題の明確化とまとめ・振り返りの時間の確保、学習支援動画の活用
- ペア学習・小グループ学習を取り入れた学習形態の工夫
- 上越教育事務所要請訪問事業の活用による授業改善
- 終学活前の学習プランニングタイムの導入
- 家庭学習としての自主学習ノート、デジタルドリル教材の活用
- 授業の学びと家庭学習との好循環を生み出す指導の工夫
- NRT や Web 診断問題の効果的な活用
- ②認め合い高め合う学級集団の育成
- 諸活動を通して自己肯定感を高める取組
- 学級集団づくりの研修機会の有効活用

6 重要な教育活動

(1) キャリア教育

自分を見つめ、地域・社会・職業を考え、自己実現を目指す生徒

- 1年生…主体的に自己の進路について考える態度を育てる。(職業調べ)
- 2年生…職業に対する関心を高め、進路選択に必要な力を育てる。(職場体験)
- 3年生…進路実現のための自己開発に努める態度を育てる。(高校調べ)

(2) 特別支援教育

- 適切な指導及び必要な支援を全職員で行い、困難を主体的に改善・克服する態度の育成
- 自己実現に向けて、自らのありようを知り、自らの行動を決定しようとする態度の育成

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技部 ○軟式野球部 ○サッカー部

- 男女バスケットボール部 ○体操競技部
- 男女バレーボール部 ○男女卓球部
- 男女ソフトテニス部 ○剣道部
- 吹奏楽部 ○科学部 ○美術部 ○研磨部

(2) 活動時間

夏季 16:05～18:00 冬季 16:05～17:15

*毎週月、木、土または日は活動なし

*夏季休業日、冬季休業日は別に設定

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○主幹教諭 1 ○教諭 33
- 講師 2 ○養護教諭 1 ○栄養教諭 1
- 事務主任 1 ○ALT 2 ○教育補助員 5
- 事務補助員 1 ○管理員 2 ○調理員 9
- スクールカウンセラー 1 ○心の相談員 1
- 図書館司書 1 ○地域学校協働活動推進員 1

9 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 町内会長、主任児童委員、学識経験者、PTA
- 学校応援隊他

【CSとしての課題】

- 学校区全域の地域との連携
- 真に地域に開かれた学校づくり

校時表

	月	火	水	木	金
8:05~ 8:15	職員朝会				
8:15~ 8:30	朝学活・学年朝会・生徒朝会				
8:40~ 9:30	1限				
9:40~10:30	2限				
10:40~ 11:30	3限				
11:40~ 12:30	4限				
12:35~ 13:05	給食(配膳含む)				
13:05~ 13:40	昼休み				
13:40~ 13:55	清掃		清掃		清掃
13:45~ 14:35		5限		5限	
14:00~ 14:50	5限		5限		5限
14:45~ 15:35		6限		6限	
15:00~ 15:50			6限		6限
授業終了10分後 学習計画・終学活20分間					
終学活終了 月(15:20)火・木(16:05)水・金(16:20)					
~ 18:00		放課後活動・部活動			

*生徒下校 18時15分(冬季:17時30分)

*通学方法 路線バス71名 徒歩・自転車395名



糸魚川市立青海中学校

所在地 糸魚川市大字寺地1160

校長名 渡辺 徳彦

教頭名 佐藤 文大

TEL 025-562-2079

FAX 025-562-5447

E-mail omi-jhs@itoigawa.ed.jp

令和5年度学級編成

学年	1年	2年	3年	特支	合計
学級	2	2	2	1	7
男子	18	35	32	9	85
女子	18	28	27	1	73
合計	36	63	59	10	158

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

本校創立(S22・4・30) 開校式(S22・5・15)

新校舎落成(S23・4・17)

創立10周年記念、式典(S32・11・8)

寄宿舎落成(S37・12・15)

上路中学校と統合(S41・4・1)

創立20周年記念、式典(S42・11・1)

市振中学校と統合(S43・4・1)

歌外波中学校と統合(S46・4・1)

創立40周年記念、式典(S63・4・30)

新校舎竣工式(S63・10・1)

創立50周年記念、式典(H9・2・27)

創立60周年記念、式典(H19・10・27)

創立70周年記念、式典(H29・10・28)

(2) 教育課題

- 基礎・基本となる学力の確実な定着と自ら学ぶ態度の育成
- お互いにかかわり合う力と思いやりの心の育成
- 規範意識を醸成し、自ら考え主体的に行動する態度の育成
- 地域の教育力を生かし、積極的に地域に貢献する生徒の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「自ら学ぶ、心豊かな、たくましい生徒」

(2) 重点目標

- 主体的に学習に取り組む生徒（自ら学ぶ生徒）
- 認め合い高め合う生徒（心豊かな生徒）
- 力強く最後までやり遂げる生徒（たくましい生徒）

(3) 重点目標達成のための方策

- 主体的に学習に取り組む生徒の育成
 - ・身に付けた知識・技能を活用した課題解決していく力の育成
- ①基礎学力の定着（授業の環境作り、板書の共通化、基礎学力テスト）
（NRT全教科偏差値52以上）
- ②適切な課題設定とICTの活用（教員80%）
 - ・「振り返り」と「見通し」に基づく学習習慣の定着（教員80%）
- ①一連の学習活動の振り返りと積極的評価

②学習計画を立てる場と適切な学習プリントの設置

○認め合い高め合う生徒の育成

- ・自他の違いを認める集団づくり

①だれとでも進んであいさつできる生徒の育成（生徒80%）

②仲間づくり活動を基盤とした集団育成生

- ・互いに高め合う集団づくり

①リーダーとフォロアーシップの育成（生徒80%/h-QU分析結果）

②学年・学級における自治的活動の促進(生徒80%)

○力強く最後までやり遂げる生徒

- ・規則正しい生活習慣を確立させる

①時間を守る意識の向上

（生徒80%・保護者70%・教員80%）

- ・目標達成に向けて努力する態度の育成

①行事や部活動での目標の設定や振り返りの充実（生徒80%）

②体力テストに基づく体力づくり（C判定以上80%）

○地域とともに歩む学校づくり

- ・「幼保小中高」との連携
- ・保護者との協働
- ・地域との連携
- ・ジオパーク学習の推進

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- 基礎学力の確かな定着を図り、主体的に学ぶ生徒の育成
 - ・授業の心得の実施（中学校区共通取組事項）
 - ・基礎学力の定着（朝学習や基礎学力テスト）
 - ・学習環境づくり（学びの心得）

(2) 道徳の時間

道徳的価値に対する自分の考えを深めることができるよう、生徒の体験を生かした指導過程を工夫することにより道徳的実践力を育成する。

(3) 総合的な学習の時間

青海や糸魚川ジオパークを中心にした体験学習や現地学習などを通して、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力を育成する。

(4) 特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた

発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- 全教職員が指導方針、指導内容について共通理解の下に、一貫した指導・支援に当たる。
- 生徒の実態をよく見取り、共感的な人間関係の下で、指導・支援に当たる。
- 職員間の報告・連絡・相談を密にして、組織的に指導・支援に当たる。
- 個々の生徒が自己理解を深め、目標をもって生活できるよう指導・支援する。
- 生徒の自主的活動を促進し、健全で楽しい学校生活が主体的に営まれるように指導・支援する。

(2) 具体的な実践の方策

- 生徒個々の理解を深めるとともに、教職員自身の姿勢を正し、生徒との信頼関係の確立に努める。
- 生徒指導情報交換会をもち、生徒の特性や対応の仕方について全教職員で共通理解を図る。
- 問題をかかえる生徒については、学年部を中心とした複数の教職員で組織的に指導・支援に当たる。
- 学級活動や生徒会活動の企画・運営に当たっては、生徒の自主性を尊重するとともに、常に教師が見守り、指導・支援に当たる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題研究テーマ

主体的・対話的で深い学びの実現

(2) 研究内容

- ①見方・考え方を働かせた授業実践
- ②各教科の評価方法、評価シート等の検討

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

糸魚川ジオパークから、課題を見つけ、持続可能な発展の視点などの見方、考え方ができる生徒を育成する。

- ①1年…ふるさと学習、ジオパーク検定に挑戦、ジオサイト探検、ジオパーク交流会参加
- ②2年…ふるさと学習、職場体験学習、修学旅行、ジオパーク検定に挑戦
- ③3年…ふるさと学習、地域貢献活動、地域活性化計画提案、ジオパーク交流会参加

(2) キャリア教育

- 自己の特性を正しく理解し、夢や希望を実現するために、自ら意志と責任で自分の進路を選択・決定する力を培う。
- 生徒のキャリアを形成するための必要な意欲・態度や能力を育てる。
- ①1年…進路計画、自己理解、職種の概観
- ②2年…労働の目的と意識、学業と職業、進路計画の吟味
- ③3年…進路計画の最終検討と進路決定、将来の生活への心構え

(3) 特別支援教育

- ①サポートが必要な生徒に対し、教育が充実するよう全職員の共通理解と協力をもとに、校内体制を

整える。

- ②特別支援学級の生徒においては、個々の特徴や能力に応じた学習を進め、基本的な知識や技能を身に付け、適切な進路選択ができるように支援する
- ③交流学級でのふれあいや諸活動を通して、集団生活への適応を図る。

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技 ○軟式野球 ○卓球
- バレーボール(女子) ○剣道
- バスケットボール(男子)
- ソフトテニス(女子) ○吹奏楽

(2) 活動時間

夏季 終学活後～17:55

秋季 終学活後～17:35

冬季 終学活後～16:55

*毎週月曜日、土曜日から日曜日は活動なし

*定期テスト前5日前より活動なし

8 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○事務長1
- 教諭13 ○養護教諭1 ○ALT1
- 管理員3 ○教育補助員1 ○非常勤講師2

9 学校運営協議会

(1) 構成 14名

○同窓会副会長、公民館長、青海事務所長、小学校長、子育て支援員、PTA会長 他

(2) 課題

○ふるさと青海に誇りと愛着をもち、将来にわたってふるさとと関わりをもつ子どもの育成

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:10	登校				
8:15	朝読書 8:25 朝学活	基礎学習 8:25 朝学活	全校朝会・ 生徒朝会	朝読書 8:25 朝学活	学年朝会
8:30	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
8:40	11	21	31	41	51
9:30	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
9:40	12	22	32	42	52
10:30	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
10:40	13	23	33	43	53
11:30	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
11:40	14	24	34	44	54
12:30	昼食				
13:05	休憩・準備・移動				
13:45	清掃 準備・移動	13:45 25	13:45 35	清掃 準備・移動	13:45 55
14:05	準備・移動	準備・移動	準備・移動	14:05 45	準備・移動
14:55	15	14:45 26	14:45 36	14:55 46	14:45 56
15:05	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
15:15	15:05 終学活	準備・移動	準備・移動	15:05 46	準備・移動
15:55	放課後活動なし	15:45 終学活	15:45 終学活	15:55	15:45 終学活
15:25	完全退校	15:55	15:55	15:55	15:55
		部活動 優先日	学年・学級活動 優先日	準備・移動 16:05 終学活 16:15	生徒会活動 優先日
				放課後活動なし	

*生徒下校

夏季18:05、秋季17:45、冬季17:05

*通学方法 スクールバス 8名

自転車通生徒 131名

電車通生徒 7名 徒歩 32名